

市長と語る会(丸柱地域まちづくり協議会)

平成27年 9月 27日(日) 午後7時30分～午後9時
丸柱地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
丸柱保育所について	小学校が統廃合により地域からなくなりました。保育所もなくなるのか。公共交通は行政バスのみで、少子高齢化が進展しており、若者がますます住み難い地域になってしまうのではないかと危惧している。どうか保育所を存続してもらうようお願いしたい。	保育所の統廃合の件につきましては、平成24年2月に初めて説明会を実施し、その後1年に1回説明をしています。今年には保護者へ3度、地域へ1度説明会をしました。保育所のあり方の検討では、ある程度の人数が確保できない保育所は統廃合していく方針があります。来年の入所希望を伺う時期になってはいますが、その後保護者との話し合いの機会を持たせてもらいたいと考えています。保育所の統廃合については即断は難しい状況です。
空き家対策等について	丸柱地域では5年間で約200人も人口が減少している。人口減少に伴い、空き家が増加している。空き家のリユースについて市として具体的な支援を頂きたい。新規就農するにしても設備投資が必要である。具体的な就労支援を実行してほしい。	農業を実際に始めたいと考える若者はいますが、居住の場所がありません。空き家のリユースについても、貸し手と借り手の仲介をするためにまちづくり伊賀上野(株)がありますが、これまで上野市街地の街中だけ空き家の仲介を実施していたが、今後は、周辺地域にも広げていきます。三重県では移住交流の窓口を設けていますので、伊賀市でも移住交流を進めていきます。
伊賀焼の振興について	伊賀焼についても市としてもっと支援してほしい。	伊賀焼の振興として、三田坂バイパスの、トンネルの名盤を伊賀焼で作製するように伊賀建設事務所に依頼しています。少しでも当地のアピールを進めています。今年も浅草で食材フェアを実施しますが、伊賀は通産管内が名古屋であり、近畿の信楽焼きや京織物などとの差別化がされていて残念です。信楽焼きのキャンペーンをする際に伊賀焼もセットでアピールすることも必要です。首都圏では伊賀焼の認知度が低いので、今後もっと知ってもらう必要があります。伊賀焼はブランド力があると思います。
子どもの学力について	丸柱の子どもは4月から阿山小学校に通学しているが、学校が荒れている様子である。子どもの学力についてどのように考えているのか。しっかりとした指導とサポートが必要である。	教育委員会は独立の機関であります。今年の4月から教育委員会制度が変わりました。市長部局と連携をもって教育大綱を現在策定中です。その中で、しっかりと学力の向上を図ってほしい。少子高齢化のなかで子どもが市外に出て行ってしまふことが課題とされていますが、地元を愛する郷土教育をしっかりとしていきたいと考えています。子どもたちは順応性が高いので、学校、地域、家庭で目配り、気配りが大事です。この三者が三位一体となりよいバランスを保ち進めていきたいと思ひます。

<p>公共交通機関の整備について</p>	<p>公共交通機関の整備を進めてほしい。利便性が大変悪い。市としてどのような計画を立てているのか、今後どのようにしていくのか。</p>	<p>バス交通の問題ですが、どこでも運用が大変です。やり方の工夫をしなければなりません。名張市や上野の比自岐では自治協でバス運営し、地元負担のうえで運行をするなどしています。</p> <p>阿山は行政サービス巡回車が5路線あります。しかし、1路線1人ぐらいの利用しかありません。そのためコストがかかっています。行政が市内をもれなく巡回するのも方法もありますが、地域で「地域運行バス」として運行することもできます。名張では4路線運行しています。市はそこに補助金を出しますが、そこでは地域が自由にルートや時間を決めることとしています。今計画を策定中ですので、今後お示しします。</p> <p>隣の諏訪では福祉有償運送サービスをしています。お年寄りの通院や買い物サポートなども実施しています。色々な方法でまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>沢山の人を運ぶのではなく、福祉有償運送というのが可能性が高く、今後トータルで負担の比較研究も必要です。</p>
	<p>行政バスは行政側として老人がどこに行きたいのか把握していない。結局は買い物と病院しかない。行政側が時代の変化に対応していないのが問題がある。もっとニーズを知らべる必要もあったのではないのか。公共施設の最適化についても、公共施設をフル回転するための工夫をしてきたのか。施設の建設についても行政主導で進めて来たものではないのか。</p>	<p>行政と市民の二極構造ではありません。行政は市民のためのものです。市民は市民の努力をしていただき、行政でしかできないものを行政は頑張ります。究極は市民と行政の摺合せをして協働していくことが大事であると思います。</p>
<p>新市庁舎について</p>	<p>新市庁舎について、説明会を地域でしているが、市職員の意見を聞いているのですか。また、身の丈にあったものですか。</p>	<p>庁舎の建設については、ワーキンググループを立ち上げて市職員の意見も加味されています。身の丈にあっているのかについては、庁舎としては他の自治体と比較して「下」のランクです。横に県庁舎があるので大会議室を借りるなど、駐車場も県の駐車場も活用できるよう工夫をしています。</p> <p>設備についてもあまりコストが必要ないようにしています。総合窓口として1階でほとんどの市民サービスが可能ないように工夫しています。エスカレーターはランニングコストが大きいのですが、是非付けるようとの議会からの要望もあり敷設することとなりました。</p>

<p>財政について</p>	<p>新庁舎、消防署、南庁舎、小学校など必要ですが、財政問題は大丈夫ですか。</p>	<p>大きな事業がいっぱいあります。そのうえで名張市のように増税や、今後赤字再建団体になることはないかと心配されていますが大丈夫です。市長就任時には1120億円の借金がありましたが、起債のプライマリーバランスを保って借金をより多く返済していき、平成32年度には890億ほどになる予定です。基金は合併時に60億円となっていたが、現在130億円あります。財政調整基金については、55億円あります。子育て支援基金として5億円を加味すると過去最高である。10年先の財政見通しも常に計画しています。計画通りに行けば問題ありません。</p>
<p>道路整備について</p>	<p>河合から長い坂道がある。中学生は自転車であり、歩道がない。一日の交通量は3000台とかなり多い。また、大型車が通り大変危険な状態である。子どもが安心して通学できる通学路が必要である。ぜひ早い時期に着手してほしい。</p> <p>他地域からやってきて30年になる。道は広くなり、大型車が多くなり、ゴミも増えた。子どももゴミが散乱しているところで普通に生活している。そのような状況が普通になっていけば道德の問題にもつながる。</p>	<p>自治協からの要望も聞いています。実現に至っていませんが、引き続き取組をしていき実現につなげていきたいと思えます。三重県へしっかりと訴えています。</p> <p>ゴミの問題についてはみんなで協力していかなければなりません。交通の安全については、三重県公安委員会にみんなで申し出していく必要があります。</p>
<p>小規模発電について</p>	<p>地域の再生について、ダムからの水路を活用して小さなエネルギーを地産地消して進めてはどうですか。</p>	<p>阿波地区では、若者が小水力発電を進めています。エネルギーの地産地消は進めていく必要があります。青蓮寺のパイロットファームの水路についてもそのような設備を進めるようになっています。</p>
<p>伊賀焼の振興について</p>	<p>伊賀焼の窯元をしています。規模の違いもあり、組合の中でも伊賀焼のPRをしているがやはり知名度がない。丹波焼、信楽焼きの陶器祭では市も含めて協力されている。伊賀焼の陶器祭では市の協力が少ない。現在後継者が少なく伊賀焼の継続も危ぶまれている。市の協力ももっと力を入れてほしい。</p>	<p>市として出来る範囲の後押しをしていく必要があります。</p>

市職員について	職員のスキルアップについて、どのように取組をされていますか。年功序列で役職についているのですか。役職試験などもなく年齢だけでは行政のプロにはならない。もっとレベルアップをしてもらう必要がある。	職員については約3年での異動となり、年功序列での役職配置をしているつもりはありません。職員の年齢構成もいびつなことになっています。職員適正化計画をすすめる中で、かなり無理なダイエットをしていると思います。民間でできる仕事は民間にしてもらう必要があります。また、社会人入試をすることも必要です。役職資格試験についても必要であると考えています。職員組合等との話し合いが必要ですがしっかりと進めていきたいと思っています。
丸柱小学校跡地について	丸柱小学校の跡地利用について、青少年育成センターやスポーツセンターなど合宿ができる施設なども活用可能であると思うのでよりよい活用を願いたい。	丸柱小学校については大変良い所ですが、場所としては旧上野市地内です。市街化調整区域となっており、建物の利用用途の制限などに課題があります。現在都市計画の変更のため現在手続き実施中です。上野では用途指定をしており、市街化区域と区域外などの線引きをしています。阿山においても都市計画の指定はありますが、用途指定はしていません。開発行為については土地利用に制限はありません。そのような違いがあると土地利用にいびつな状態となるので、地域で土地利用を考えることができるよう、条例で縛りをかけていくよう検討しています。農業用施設として用途変更が出来る可能性はあります。今後地域と話をすすめていきます。字界変更なども含めて現在検討中です。
AEDについて	AEDについて保育所にあるが、市民センターに設置されていない。有事の際にはどうすれば良いのか。名張ではコンビニに設置されている。	コンビニへの設置につきましては、協議を進めていきたいと考えています。